

## 8 まちづくりの実現に向けて

この基本構想を実現していくために、次の3つのまちづくりの視点から、その目標と具体的な展開方を示し、施策実現に向けた取り組みを位置付けます。

### 住民主体のまちづくり

**目標：**住民主体・行政支援のまちづくりシステムをつくり、本格的な住民主体のまちづくりの実現を図ります。

住民が活動しやすい環境の整備を進めるとともに、住民側も自己責任の原則に立ち、「一人がみんなのために」という考え方が尊重される社会の実現をめざします。

#### まず取り組むことは

住民・行政・専門家などからなる検討組織を設置し、住民主体のまちづくりに関する具体的な展開について、調査・検討を進めます。

具体的な展開方策・・・

- ・「精華町まちづくり条例」の充実（自治会活動の支援、NPOなどの市民社会活動の支援）
- ・住民のまちづくり活動の支援（基金の創設、学習機会の提供など）
- ・広く住民や事業者などの意見を求めるパブリックコメントの導入
- ・計画づくりの工夫（各種行政計画の策定や評価における住民参加機会の確保、住民にわかりやすい目標設定など）
- ・身近な公共施設の維持管理などにおけるNPOなどの運営参加 など

### 学研都市を活かしたまちづくり

**目標：**学研都市の研究開発成果を活かして、先進的な住民生活が体験できるシステムをつくり、「学研都市精華町」ならではの魅力を発信します。

学研都市に立地した研究機関などの集積を活かして、新産業の創出や支援産業などの立地を促進します。

#### まず取り組むことは

住民や研究者、企業などのニーズ把握を行うための調査・検討を進めます。

具体的な展開方策・・・

- ・学研都市ならではのモデル的な生活に関する社会的実証実験の参加（情報、環境、福祉、教育、交通など）
- ・研究開発や産業の振興などに関する積極的支援
- ・研究開発重視型産業の立地環境整備 など

### 広域連携によるまちづくり

**目標：**近隣の市町村と連携して、共通する多様な広域的課題の解決に取り組みます。

社会構造の変革に対応できる市町村連携の枠組みも視野に入れながら、総合計画に対応した、質の高い効果的な行財政運営をめざします。

住民間での広域的な連携活動についても積極的な支援を図ります。

#### まず取り組むことは

目的に応じた住民や関係団体・機関などによる検討組織を設置し、その具体的方策や事業推進を行うための調査・検討を進めます。

具体的な展開方策・・・

- ・学研都市の建設の推進と活用
- ・社会構造の変革に対応した質の高い効果的な行財政運営
- ・住民間の広域連携活動の支援と公共施設の相互利用
- ・国際標準化機構(ISO)の環境マネジメントシステム(14000シリーズ)認証取得などの新たな課題への対応
- ・職員の能力開発 など